

知的障がいのある子どものための暴力防止講座—CAP

個別療育支援員養成講座【入門編】

すべての子どもの安心・ 安全を考える

29年9月9日(土) 13:30~16:30

桑名市精義公民館

桑名市中央町三丁目49番地(アピタ桑名店南)

参加費：無料
資料代：300円

子どもは社会的に弱い立場におかれています。障がいのある子、虐待を受けた子、施設でくらす子は、子どもたちの中でもさらに弱い立場におかれています。まったくその子の責任ではないものために、より暴力被害にあいやすいという厳しい現実があります。

障がいのある子どもたちには、従来のCAPプログラムを子どもの発達段階や学び方など、一人ひとりのニーズにあわせて工夫してワークショップを提供しています

おとなも子どもも、自分自身を大切にすること、いっしょに考えましょう。



CAP(キャップ)とは、Child Assault Prevention (子どもへの暴力防止) の略です。

CAPプログラムは、子どもたちが、いじめ、誘拐、虐待、性暴力といったさまざまな暴力から自分を守るための予防教育プログラムです。

子どもへのあらゆる暴力を権利侵害ととらえ、子ども自身が自分の大切な心とからだを守るための知識とスキルを子どもや保護者、教職員、地域の大人に提供します。

【お申込み・お問合せ】 CAP みえ
TEL:090-6089-7134
FAX: 0594-21-7884
e-メール:capmie-kodomo@yahoo.co.jp



桑名市まちづくり補助金事業／ 主催：CAP みえ

協力：人権ワークショップグループあるふぁ・(一社)チャンス

知的障がいのある子どものための暴力防止講座—CAP
個別療育支援員養成講座【入門編】

すべての子どもの安心・
安全を考える



□なぜ被害者になりやすいのでしょうか？

1. 力がない・・・からだの不自由のため素早く逃げられない、無力だと思いこんでいる
2. 力のある人を尊敬するように教えられている
3. いい子であることを期待されている
4. 他人に依存せざるを得ない
5. 孤立

□被害にあいやすい理由に加えて、私たちが思いこんでいる偏見があります。たとえば・・・

1. いつも保護されて、社会から隔離されているから安全だ。
⇒多くは、身近な人から被害を受けている。
2. 障がいのある人は何をされてもよくわからない
⇒不安や恐れなど、より感情的苦痛がある。
3. 性暴力の対象にならない。だから性教育は必要がない
⇒暴力は社会的な力を持たされていない人へ向く。

どの人も大切な自分を守るための学習の機会を持ち、自分を守る力に気づいてもらうことが必要。

おとなにできること—

子どもの持つ力に気づき、その力が発揮できるよう支える

- ・子どもの気持ちに注目し、子どもの声に耳を傾ける
- ・暴力の発生を未然に防ぐための、知識、スキルを提供する
- ・子どもを孤立させない

13:15 受付

13:30 第1部

- ・CAPとは、子どもへの暴力防止の活動
- ・CAPの考える暴力防止の考え方
- ・知的障がいのある子どもの支援方法
- ・CAPスペシャルニーズプログラムの紹介
- ・子どもの声を聴く

15:15 第2部

- ・チャレンジ個別療育メソッドについて

16:30 終了



この講座は、個別療育支援員養成講座【入門編】を兼ねています。

9/24(日)桑名市にて、【基礎編】を開催。その後、【実技編】を修了された方には、修了証と共に、個別療育を実践している事業所への斡旋を行うことができます。

詳細は、一般社団法人チャンス 052-734-7704 へお問い合わせください。